“原発なかったら15%の電力不足”って本当!?

大飯原発「再稼働」問題を考える
緊急学習・討論会

　関西電力と政府は、“大飯原発の再稼動をしなかったら 15%の電力不足が生じる” “だから大飯原発の再稼動を”といっています。本当にそうでしょうか？　原発なしにこの夏を乗り切ることは不可能なのでしょうか？　そもそも「15%の電力不足」は本当なのでしょうか？　私たちは“電力不足”問題をどう考え、どう対処したらよいのでしょうか？

　一方、大飯原発の立地自治体・大飯町では、町議会が共産党を除く全議員の賛成で再稼動を求める決議を上げ、決議文を町長に手渡しています。福島第一原発の事故で、原発がいったん苛酷事故を起こせば住民の環境と生活がいっぺんに破壊され、大変なことになることが明らかなのに、どうしてこんなことになるのでしょうか。原発なしの地域経済は成り立たないのでしょうか？

　こんな疑問について学び、みんなで討論する「学習・討論会」を下記のように開催します。ぜひご参加ください。

●日　時　６月２０日（水）午後６時３０分～

●場　所　国労会館・３Ｆホール

大阪市北区錦町 2-2　(最寄駅　JR 環状線「天満橋駅」
地下鉄堺筋線「扇町駅」)

●学　習　①“原発なかったら 15%の電力不足”って本当？

講師　藤永のぶよさん（自然エネルギー市民の会）

②大飯町には“原発なしの地域経済”って出来ないの？

講師　上岡　直見さん（環境政策研究所・主任研究員）

●資料代　１人５００円

主催　原発をなくし、自然エネルギーを推進する大阪連絡会
大阪市中央区内本町 2-1-19　内本町松屋ビル 10　370 号
電話 06-6949-8120　FAX06-6949-8121